

イベント開催時のチェックリスト

シートが2枚ありますのでご注意ください。

【第3版(令和4年9月版)】

開催概要	本項目では、チェックリストを記入する前に、イベントの情報をご登録ください。		
イベント名	令和4（2022）年度栃木県・栃木市総合防災訓練		
出演者 チーム等	別紙のとおり		
開催日時	令和4年12月11日9時00分～12時00分		
	複数回開催の場合→別途、開催する日時の一覧をご提出ください。		
開催会場	栃木市総合運動公園		
会場所在地	栃木県栃木市川原田町760		
主催者	栃木県、栃木市		
主催者所在地	栃木県宇都宮市埴田1-1-20（栃木県）		
	栃木県栃木市万町9-25（栃木市）		
主催者連絡先	電話番号	メールアドレス	
	028-623-2133（栃木県） 0282-21-2551（栃木市）	kikikanri@pref.tochigi.lg.jp（栃木県） kikikanri@city.tochigi.lg.jp（栃木市）	
収容率 (上限)	大声なしで開催		
	①収容定員あり 100%	✓	②収容定員なし 人と人が触れ合わない程度の間隔
	大声ありで開催		
	③収容定員あり 50%		④収容定員なし 十分な人と人との間隔（最低1m）
「大声あり」、「大声なし」のエリアを明確に区分して開催			
⑤収容定員あり 大声なしのエリア：100% 大声ありのエリア：50%		⑥収容定員なし 大声なしのエリア： 人と人が触れ合わない程度の間隔 大声ありのエリア： 十分な人と人との間隔（最低1m）	
収容定員	人(注)		—
参加人数	約3,000人(注)		
その他特記事項	観客等は、実動訓練や展示を見学することが主であり、参加型の訓練や各種体験においても通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発するものではありません。 (大声なしの場合は、大声なしと判断した理由や、大声を伴わないことを担保する具体的な対策を記載してください。)		

(※) 大声の定義を「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声を発すること」とし、これを積極的に推奨する又は必要な対策を十分に施さないイベントは「大声あり」に該当することと整理す
(注)収容率(上限)において⑤を選択した場合は、「大声あり」と「大声なし」のエリアの区分ごとの収容定員・参加人数を記載すること。

感染防止策チェックリスト

基本的な感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

1. イベント参加者の感染対策

(1) 感染経路に応じた感染対策

①飛沫感染対策	✓	適切なマスク（不織布マスクを推奨。以下同じ。）の正しい着用の周知・徹底
	✓	イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保 （※）大声の定義を「観客等が、①通常よりも大きな声量で、②反復・継続的に声を発すること」とする。
		「大声あり」、「大声なし」のエリアを区分して開催する場合、上記対策に加えて、
		大声なしエリア・大声ありエリアの明確な区分があり、それぞれにおける、イベント参加者間の適切な距離の確保
		大声なしエリアにおける、大声を防止するための対策の実施
②エアロゾル感染対策	✓	機械換気による常時換気又は窓開け換気
	✓	適切なマスクの正しい着用の周知・徹底【①と同様】
	✓	イベント会場(客席、入退場口やトイレ等の共用部)におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】
③接触感染対策	✓	イベント参加者によるこまめな手洗・手指消毒の徹底や、主催者側によるイベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）の消毒の実施
	✓	イベント会場（客席、入退場口やトイレ等の共用部）におけるイベント参加者間の適切な距離の確保【①と同様】

感染防止策チェックリスト

基本的な感染防止

イベント開催時には、下記の項目（イベント開催時の必要な感染防止策）を満たすことが必要です。

※5,000人超かつ収容率50%超のイベント開催時には、個別のイベントごとの具体的な対策を記載した「感染防止安全計画」の提出が必要です。

1. イベント参加者の感染対策

(2) その他の感染対策

④ 飲食時の感染対策	✓	前項（1）感染経路に応じた感染対策と併せて、飲食時の感染対策（食事中以外のマスク着用、飲食に伴いマスクを外す際の会話自粛等）の徹底の周知
⑤ イベント前の感染対策	✓	発熱等の症状がある者のイベント参加の自粛の呼びかけ
⑥ 感染拡大対策	✓	イベントで感染者が発生した際の参加者への注意喚起

2. 出演者やスタッフの感染対策

⑦ 出演者やスタッフの感染対策	✓	出演者やスタッフによる、練習時・本番等における前項（1）感染経路に応じた感染対策に加え、健康管理や必要に応じた検査等の実施
	✓	舞台と客席との適切な距離の確保など、出演者やスタッフから参加者に感染させないための対策の実施

上記に加え、各業界が定める業種別ガイドライン（該当する業種において策定されている場合）を遵守すること。

令和4（2022）年度 栃木県・栃木市総合防災訓練
参加・協力機関・団体一覧

●主催者

栃木県

栃木市

●参加・協力機関・団体 ※93 団体（50 音順）

赤帽栃木県軽自動車運送協同組合

アキレス株式会社

足利市消防本部

足利赤十字病院

イオンリテール株式会社イオン栃木支店

石橋地区消防本部

一般社団法人下都賀郡市医師会

一般社団法人下都賀歯科医師会

一般社団法人栃木県医師会

一般社団法人栃木県一般高圧ガス安全協会

一般社団法人栃木県LPガス協会

一般社団法人栃木県警備業協会

一般社団法人栃木県建設業協会下都賀支部

一般社団法人栃木県歯科医師会

一般社団法人栃木県自動車整備振興会

一般社団法人栃木県トラック協会

一般社団法人栃木県レンタカー協会

一般社団法人日本アマチュア無線連盟栃木県支部

一般社団法人日本自動車連盟栃木支部

A B C ロジテム株式会社

N H K 宇都宮放送局

N P O 法人コメリ災害対策センター

N P O 法人栃木県防災士会

小山市消防本部

鹿沼市消防本部

株式会社アクティオ佐野営業所

株式会社デベロップ

株式会社ドコモCS栃木支店
株式会社とちぎテレビ
株式会社栃木放送
株式会社明治
株式会社ヤオハン
株式会社レンタルのニッケン
株式会社ローソン
関東管区警察局栃木県情報通信部
KDDI株式会社 北関東総支社
ケーブルテレビ株式会社
公益財団法人栃木県学校給食会
公益財団法人栃木県消防協会
公益社団法人全日本不動産協会栃木県本部
公益社団法人隊友会栃木県隊友会
公益社団法人栃木県栄養士会
公益社団法人栃木県看護協会
公益社団法人栃木県獣医師会
国土交通省宇都宮国道事務所
国土交通省気象庁宇都宮地方气象台
佐野市消防本部
自衛隊栃木地方協力本部小山地域事務所
社会福祉法人栃木県社会福祉協議会
社会福祉法人栃木市社会福祉協議会
全国要約筆記問題研究会栃木支部
ソフトバンク株式会社
TCB観光株式会社
東京電力パワーグリッド株式会社
藤成測量株式会社
栃木県警察犬訓練所
栃木警察署
栃木県警察本部
栃木県建設産業団体連合会
栃木県災害派遣医療チーム
栃木県災害派遣精神医療チーム
栃木県災害福祉広域支援協議会
栃木県手話通訳問題研究会

栃木県消防防災航空隊
栃木県生活協同組合連合会
栃木県赤十字血液センター
栃木県聴覚障害者協会
栃木県電気工事業工業組合栃木支部
栃木県電波適正利用推進員協議会
栃木県都市ガス協会
栃木市公認管工事業協同組合
栃木市国際交流協会
栃木市建設業協同組合
栃木市消防団
栃木市消防本部
栃木市婦人防火クラブ
栃木レスキューサポートバイクネットワーク
獨協医科大学病院
那須赤十字病院
日本赤十字社栃木県支部
日本赤十字社栃木県支部アマチュア無線奉仕団
日本赤十字社栃木県支部栃木市地区栃木市赤十字奉仕団
日本郵便株式会社 栃木平柳郵便局
芳賀赤十字病院
東日本段ボール工業組合
東日本電信電話株式会社 栃木支店
東日本三菱自動車販売株式会社
三菱自動車工業株式会社
ユアサ商事株式会社 北関東建材部
楽天モバイル株式会社
陸上自衛隊宇都宮駐屯地第12特科隊
陸上自衛隊第12ヘリコプター隊
陸上自衛隊第307施設隊